

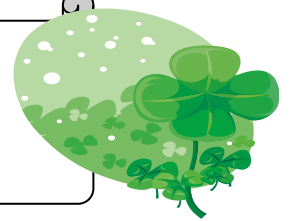
ゴ ク ロー サン
5 9 6 3 ハート通信

VOL. 47

竹原運輸株式会社

発行日 平成 24 年 5 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

今回は車間距離について、最近また気になったので考えてみます。

前回車間距離は、人との関係性だと書きました。誰だかわからない人（前方の車両）と自分との関わり方が車間距離に現われる、と。

そこで今回は思い切って言ってしまうのですが・・・

「車間距離は、その人の教養のレベルである。」

教養とは、「人の事や気持ちがわかる力」だと思います。後ろから車間距離を詰めて走られて気持ちいい人はいませんし、気にならない人もいないと思います。

自分が車間距離を詰められると困るにもかかわらず、自分の都合で車間距離を詰めて走る人は、教養が足りない、と断言していいと考えます。

もちろん人との間合いが、元々近い人は存在しますが、適切な間合いを身につけることは良好な人間関係を保つには役に立つでしょう。

車間距離に限らず、運転とは「全体と自分との関係性」です。自分だけでは米一粒、酒薬、家など・・・ 何一つ作れません。

他人の力があって今の自分がある、とわかれば、傍若無人な運転はしなくなると思います。お世話になった人が前にいたら、車間距離は詰めないんです。

そう思いながらあらためて、自分の車間距離を見直した最近の私でした。

竹原和行

最近、一事故で多数の死傷者が出る交通事故が頻発しており、全国的に大きく報道されています。

運転中、運転者の体調、精神状態にかなり問題がありそうな事故原因が報道されています。

また、「陸援隊」バスツアー事故では、国から許可をうけて青ナンバーの営業車を運行している同業者としてみますと、全く安全管理を行っていない姿が見えてきます。その企業体質は全く理解出来ません。

JR西日本の尼崎線転覆事故以来、運輸安全マネジメントを会社に導入することとなりました。利益優先主義に走り安全面が疎かにならないよう、安全面においては経営トップに全責任があることとなっています。

また、全社員が一丸となって輸送の安全確保に組織をあげて取り組む責務があります。

弊社では、小さな事故の積重ねが大きな事故に繋がるとの考え方から、「どんなに小さな事故も見逃さない」安全体質を構築しています。些細なキズもすべて報告し、その原因を徹底的に追求する中で、どこに不安全な点があったか検証し再発防止に役立てています。また、新たな車両のキズがないか定期的に車両チェックを実施しています。

社長 竹原正和

「今！！思うこと」

例年と比較し厳しい寒さが続いた冬も終わり、桜前線も日本列島を南から北へと移り飾り、今は新緑の素晴らしい季節になって来ました。

桜は、人生の縮図を呈した花であり、開花と共にそれぞれに様々な思い出を重ねる特別な存在であると思います。1年のうち僅か2週間余りで散りゆく姿は、まさに美景であると思います。辞書を引いてみると花言葉は「純潔」「精神美」だそうですが、最近の世相を見ると、京都の事故、罪もない児童が亡くなる事故、高速バスの事故等、私達運送事業に携わっている者にとって、心根を痛めることばかりです。

その中で私達運送業者に目を向けて見ると、燃料価格の高騰と長引く不況やフランス、ギリシャでの金融不安と厳しい環境が続いていますが、当社に於いては、徹底したコスト削減、省エネ運行に懸命に努めておりますが、なかなか好転する兆しが見えてこない昨今です。

私達は、怯むことなく交通労働災害防止と環境の保全に取組、法令の遵守に努め、創意工夫を図って勇気と英断を持って果敢に取組、お客様に安全で安心な輸送を提供して行かねばならないと考えながら日々努めて頑張っております。

今後共宜しく御指導下さいますようお願い申し上げます。

橋本 勝

『紅一点 プロドライバー』

今回は、当社の乗務員の中で紅一点、マドンナ的存在の女性ドライバーを紹介したいと思います。油ローリー部門の小西里沙さんです。本人は「体を動かすことが好きで車の運転も大好き」と毎日 16kl 車（13ト車）タンクローリー車に乗務しています。本人は運転自体も好きということもありますが、父親が職場を共にする同僚ドライバーで情報の共有もあり、車を身近に感じていたこともあったそうです。

本人は、トラックに乗務して8年になり、当社に入社した当時は南営業所の配送センターで決して楽ではない仕事であるコンビニ回りの配送業務を早朝から毎日地道にこなしておりました。

ここでプロドライバーとして着実に経験を積み、本社へ配属変えを契機に危険物免許を取得し、油ローリーに乗務することが決定になりました。運転の腕前は、男性乗務員以上、車両、運転席は女性らしくいつもピカピカです。他の乗務員も感化されて、運行後は負けずと洗車に専念するぐらい影響が大であります。

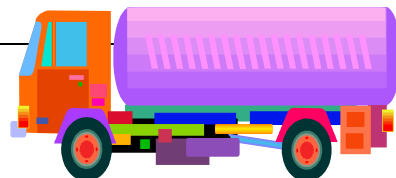
本人に「安全運転の秘訣は」と聞くと、「私はゆっくりなんです」と小柄な体で笑顔で語ってくれました。11年間無事故、無違反（SDカードで確認済）で、運行チャート紙を確認しても社速をしっかりと厳守して運行しております。何よりも「初心を忘れない」運転操作、安全作業に徹しているとのことでした。

積込先のドライバー、同僚の仲間たちから頑張っているねと励ましてくれる。お客様から「明日も来てね」とリクエストが頂けることがとっても嬉しいし、お客様との会話ややり取りが楽しく、皆から友達感覚で話をしてもらえること、だから皆に助けてもらって頑張っていけるのですと謙虚に話していました。

危険物輸送は、女性だからと言って甘えは一切許される仕事ではありません。運転も荷扱い作業も事故ゼロのプロドライバー。危険物輸送のエキスパートを目指して頑張っていますと気丈なしっかりとした信念を持っている女性ドライバーです。

油ローリー部門の部門長は、うちの部門の大きな柱です。この人なくしては、我が部門は成り立たない。嫁に行かれたら困ると心配していますが、お嫁に行っても当社で頑張ってくれればという頼もしい人材です。どこかで当社の小西里沙さんが乗務しているローリー（福井 800 か 790）を見かけたら手を上げて合図をしてやって下さい。きっと喜ぶます。

斎藤 洋一



連休中、車で遠くまで出かけた方も多いのではないかと思います。最近高速道路上の大きな事故が多く発生しています。高速道路に入る前には車両を十分点検してから走行して下さい。万一、故障や事故により運転を継続する事が困難な状態になった場合には、後続車に対する安全措置を取った後、速やかに安全な場所に退避して下さい。安易に本線車道上に立つことは絶対禁止です。ガードレールの外の安全な場所に入って下さい。

又、一般道路では、キープレフトの原則、追越車線の連続走行はやめ、十分な車間距離をとって安全走行を行って下さい。他人に迷惑を掛けず、無理な走行はやめて環境にやさしい運転、行動を行って下さい。

整備担当 吉川 文雄



今日は5月9日(水)です。明日10日がこのハート通信の原稿の締切日になっております。明日の朝までに編集担当者に原稿を届けなければなりません。今号が皆様のお手元に届くのは5月20日過ぎからになると思います。桜は今年もパッと咲いてパッと散り新緑の季節になり薄紫色の藤が見事に咲いております。この時節・・・今年もまた地元でのお祭りがすぐそこまでやってきました。

「三國祭り」は北陸三大祭のひとつとして称せられ、毎年5月19日～21日にかけておこなわれ10数万の参拝者で街中が賑わいます。神輿2基の行列、武者行列に名物の武者人形山車6基が港町の情緒をかきたてます。狭い町並みの両脇にぎっしり立ち並ぶ700軒の露天商、人々の波で街中が祭一色になります。中日の20日正午に三國神社前に奉納された山車6基は午後1時に1番山車から順に神輿をはさんで神社前を出発し街中に繰り出します。これに携わる奉仕者は700人、三國っ子は燃えに燃える。立ち並ぶ露天商の軒先を掠めるように屋根をハネ上げ、ハネ上げ笛と三味線、太鼓の囃子で山車が進む。きしむ車輪の音。面舵、取舵の響声の中、250年の歴史を刻んできた山車、神輿と武者行列の巡行は夜遅くまで続きます。

「三國っ子」の私は今年も燃えに燃えております。1年間の無事を感謝するとともに、1年後の無事を祈願します。舟神輿の担ぎ手として祭りに参加する私にとってこんなに待ち遠しい日はないのです。祭りが好きで神輿が大好きで、そして生まれ育った港町三國を愛しているのです。

悲惨な事件や事故が毎日のように報道されております。あつてはならないことや起こってはいけないことが多発しております。被害に遭われた方々には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。この誌面上で元気を伝えられればと願っております。

今年も中日の一日だけ、パッと咲いてパッと散りましょう。と担ぎ手仲間と祭り談議に花を咲かせる今日この頃です。男衆の心粋をご披露いたします。

池上則和



爽やかな季節となりましたが、皆様お元気でしょうか？ いつも弊社をご愛顧頂きありがとうございます。

さて、引越部門では予定表が真っ黒(?)となった3月、4月の繁忙期も終わり、お蔭様で今年度は昨年度の実績を上回る受注件数を頂き、スタッフはその1件1件をお客様の立場となり誠心・誠意で作業をさせて頂きました。そこで、今回のハート通信では弊社の引越作業において、お客様がとても感動され、有り余る感謝の言葉を頂いた引越作業を紹介させて頂きます。

そのお客様は福井市内でマンション2F~マンション4Fの引越でした。引越元となるマンションは築25年程経っていて、その室内には分解のできない1本ものの大きな洋服ダンスがあり、サイズの玄関から搬出は不可能で、新築当時に入居された時はベランダから吊り上げて搬入されたそうです。しかし新築当時は空き地だったベランダ側に家が建ち、ダンスを吊り下すスペースが無くなっていて、どこからもそのダンスを出すことが不可能となっていました。お客様もそれを納得され、思い入れのあるダンスですが最悪の場合は室内で解体して廃棄することになりました。引越当日、実際にダンスが玄関から出ないことを確認頂き、室内で天板、下台、ドアを解体して出させて頂きました。その後、新居にそのダンス以外の搬入を終え、最後に解体して破棄すると思っておられたダンスを、室内に持ち込み、ビス、木工用ボンドにて復元させました。当日作業を担当したスタッフは解体時に、できるだけ傷が付かないよう注意し、復元することを前提に解体していたそうです。お客様は、その思い入れのあるダンスは破棄されるものと思っておられたので、復元されたことにすごく感動され、スタッフに何度も何度も御礼を言ってくださったそうです。

引越作業はお客様の大切な思い出や愛着の込められた家財を運ばせて頂くお仕事です。私達にとっては、1日に2件も3件もある引越ですが、お客様にとっては一生に何度しかない特別な一大行事です。一作業ごとにそのお客様の立場になり、手間隙おしませ誠心・誠意でこれからも作業させて頂きます。今後とも5963引越センターを宜しくお願い致します。



大橋 哲夫

いつもお世話になりありがとうございます。
ゴールデンウィークを過ぎ、『温かい』日があったかと思うと、肌寒い日があったりと、体調管理が難しい日が続いています。少し厚着をして後で脱ぐ。考えるのは簡単ですが、私自身は脱いだ服の始末まで出来るかどうか心配（低次元）です。

先日、社内の安全全体会議を開催しました。社長の挨拶の中に私達に宿題が出され、『一日の仕事を始める前に安全運転の誓いをたててから業務をスタートしてください。』いつも乗る車、いつもやっている作業、いつも走る道、どうしても慣れが出てしまい、自ら初心に戻るというのはとても難しいのです。

この宿題を宿題ではなく、日課に代えて毎朝自分に問いかける習慣が付くと自然に安全運転安全作業の質が向上すると思ひ、嬉しい宿題と受け止めております。後は『継続は力なり』周りの人も巻き込んで成長したいと考えております。

最後に、時期的には食中毒も心配です。皆様くれぐれも、お身体や周囲の人を大事にして、幸福を築きましょう。

辻川 伸吾

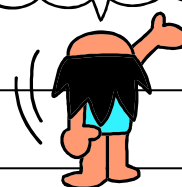
「当たり前の事」

当たり前と思っている事って本当は当たり前じゃないです。バリバリと仕事ができるのも昔誰かが教えてくれたから。今自分が生きているのも父親と母親がいてくれて、育ててくれたから。朝起きて、当たり前のように会社に行って仕事をする。これも雇って頂いているから。全ての事は、当たり前ではなく、誰かにしてもらった事。毎日感謝の気持ちを持って生活していくのがとても大切な事だと思います。

感謝の気持ちを持って生活をしていると今まで気がつかなかった事に気づけるようになったり、新しい発想が見つかったり日々成長出来るような気がします。

ありがとう

谷口 学



1月は往く、2月は逃げる、3月は去る・・・と言いますが3月、4月はお陰様で業務が忙しくなくなか子供の手が出来ませんでした。ので、ゴールデンウィークには遊びに出掛けようとしたのですが、悪天気と家内の仕事の都合で結局、何処にも遊びに連れて行くことは出来ませんでした。すると家内が、ある日絵本を買ってきました。

子供と一緒に包装紙を開けると「ウッ!!？」絵本だと言っていたので表紙を見て、ビックリ！鬼が人の舌を抜いている地獄絵巻が描いてあり、題名もズバリ「地獄」と書いてあるではありませんか。恐る恐る絵本の中身をみるとすべてのページに地獄絵巻が描いてあり正直、心地よい絵本ではありません。家内に、「どうしてこんな絵本を買ったんだ？」と尋ねると、手の付けられない子供に読み聞かせると、おとなしくなると話題になっているらしいのです。我が家の子供たち（どちらに似たのか）は、筋金入りのわんぱくで、手の付けられないほど元気ですて・・・。絵本で本当におとなしくなるだろうか・・・？

半信半疑、家内が読み聞かせるのを見ていましたら、見る見る内に静かになりおとなしくなりました。話の内容は、悪い事をすれば地獄に落ち鬼たちが許さないと言うことを、子供でも理解しやすいように書いてありました。絵本を読み終わる頃にはおとなしくなり、暫くの間でしたが言う事も聞いていたので、絵本の効果があったのかなと思いました。

いつまで通用するか分かりませんが定期的に読み聞かせて、静かな夜を過ごしたいと夫婦で願った今年のゴールデンウィークでした。

植田 泰樹



皆様いかがお過ごしでしょうか。ゴールデンウィークは、家でゴロゴロしてあっという間に過ぎてしまいました。

ゴールデンウィークどこにも行けなかったのが、5月12日（土）～13日（日）にかけて関東方面に出かけ、新東名を走ってきました。（関東大学バレーボール1部リーグ戦（慶応大学日吉キャンパスにて）を観戦しに行ったのですが・・・）

さすが新東名、道幅も広く、道路もきれいで、トンネル内も優しい照明になっており走り易いみたいで、覆面パトカーに止められている車両をよく見かけました。

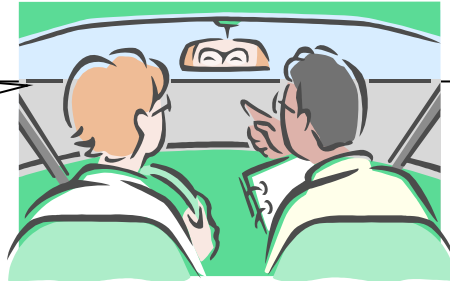
ところで昔は、地図を見ながら走りましたが、今やカーナビという素晴らしい物があり、目的地を入れればおまかせで案内してくれますよね。（前回も首都高速を走った時、とてもカーナビがなかったら走れないと・・・主人との感想！）

今回勿論、カーナビには新東名がなく、案内が終わってしまいました。そうすると、主人も私も会話が「後何キロかな、後何時間かかるかな」という会話ばかりになり、新東名を楽しむどころではなくなってしまいました。今まで何気なくカーナビをセットし、何気なく見ていましたが、「カーナビ」に頼っていたことを痛感しました。帰りは言うまでもなく、今までの東名を走行し、カーナビを見ながら「後4時間で着くわ」「もう少ししたら休憩しよう」などと会話しながら、無事福井へ到着しました。

皆様は、カーナビに頼ったりしないかもしれませんが、長距離に不慣れな主人、地図を見ると車酔いする私にとってカーナビは必需品となってしまいました。

吉川 佳代

カーナビがないと
息子の所へも行け
ないわ！！



次回お楽しみに・・・